



- 海のゆたかさをまもろう -

# CHANGE FOR THE BLUE CARD GAME

自ら判断し、  
周囲と協力しながら学ぶ

## カードゲーム



## 海洋ゴミ問題



# それぞれの仕事や生活を通して、選択する行動を考えます。

このゲームは、農家や漁師、役場、工場などの12の役割を1～3人で担い、全員で海洋ごみを減らすための行動を行います。



農家



容器をつくる工場



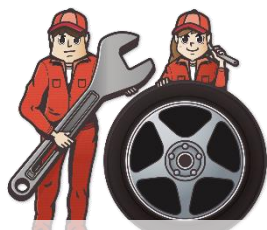
材料の会社



役場



漁師



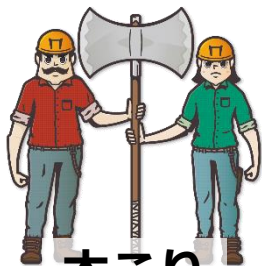
自動車をつくる工場



ショップ



清そう会社



木こり



洋服をつくる工場



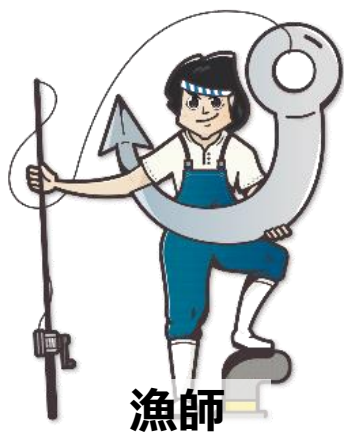
メディア



ボランティア

# 選択する「仕事」と「生活」の2つのアクション

日常生活の中で行っている行動が、海の環境にどのような影響を与えているのか、海の環境を良くするための行動にはどのようなものがあるのか、などを体験を通じて考えることができます。



**任**  
仕事  
ID.001

ドローンを使って  
農薬散布(さんぷ)

PROJECT CARD

**生**  
生活  
ID.121

油や食べ残しは  
きれいに流そう

PROJECT CARD

**任**  
仕事  
ID.003

かんきょうにやさしい  
肥料(ひりょう)を使おう

**食** 事の食べ残しや家ちくの「ふん」から作ったかんきょうにやさしい肥料を使うよ。良い土を作るのに時間がかかるけど、おいしい野菜を作りたいね。

PROJECT CARD

**生**  
生活  
ID.122

夜のうちに  
きちんとごみを出そう

**朝** はいそがしいから、前日の夜のうちにごみをごみすて場に出しておくようにしましょう!

PROJECT CARD





## 活用事例① フィールドワーク×ゲーム体験

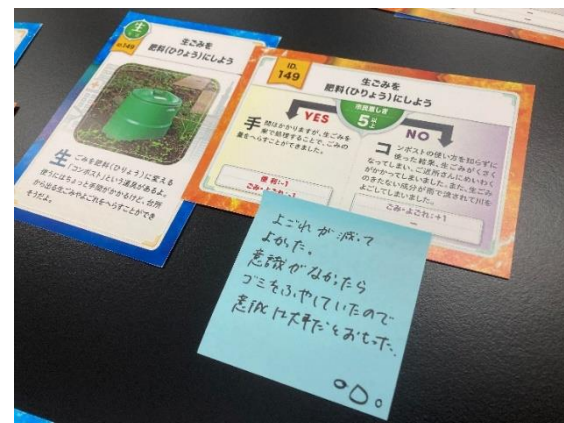
フィールドワーク（駅前ゴミ拾い活動・海岸マイクロプラスチック探索）を通して、海ごみ問題の実情や現実を理解することで、ゲームによる疑似体験から現実世界への紐づけから、体験者が海洋ゴミ問題を自分事として捉えて、自分に出来ることに気付く一歩となった。



## 活用事例② 高校での探究講座

高校の自然科学部員と2年生のプロジェクト参加希望者からなる「CHANGE FOR THE BLUE PROJECTチーム」が形成され、海洋ごみ問題を探究する活動に向けて、海洋ごみ問題を自分事として理解する第一歩としてゲーム体験を実施。

生徒一人ひとりの探究テーマの設定から、成果物制作に向けてのスタートとして活用された。



# 振り返りワークシートの感想（小学校5年生）

Q1,ゲームを通じて気づいたこと、感じた事を教えてください。

・自分が環境を良くしても便利じゃなくなったり、市民意識が減ってしまったりして、結果ごみを増やしたりしたので、環境を守るには、いろんなことのバランスが必要だと感じました。

・今はまだ全然ゴミが減ってないけれど、自分たちで努力して行けばゴミがどんどん減っていく事が分かりました。また、自分ではゴミが減りそうと思っていても、意外と逆効果だったことも何回かあったので、よく考えてから行動に移したいと思いました。

・自分がゴミを減らしても、どこかの誰かがゴミを増やし、誰かが減らしても自分が増やしてしまう。そういうことが現実とそっくりだなと思いました。でも、だからこそ自分や他の人が協力してゴミを減らしていけばいいと思いました。

Q2,なぜ、海ごみが生まれるのでしょうか？海のごみを減らすために、何に取り組めばいいと思いますか？

・自分だけが取り組んでも海のごみは減らないので、ゲームに出てきた市民意識が大事。海のごみ拾い等ゴミを減らす活動に取り組めばいいと思います。

・自分の知らないうちにゴミを増やしてしまっているかもしれない事を学び、ゲームで使ったカードに書いてあった事を身に付け、他の人にも広められたらゴミを減らすことが出来ると思う。

・プラスチック製品を使う事が問題ではなく、きちんと処理できず、海に行ってしまうことが問題だと考えました。ポイ捨てをやめるよう看板を立てる等すればいいのではないかと考えました。

# 振り返りワークシートの感想（小学校5年生）

## Q3, 今日学んだことは何ですか？ 家族に伝えられることは何がありますか？

- ・みんながゴミを少しずつ出すことで、大きなゴミになるということを知った。家族にもそのことを伝え、家中でゴミを減らす事に取り組めばいいと思う。
- ・自分たちは環境に良い事をしているつもりでも、逆効果かもしれないということを伝え、自分たちの生活を一度振り返ってみたいと思いました。
- ・私が「出来るでしょ？」と思った事も、他の人が面倒くさいと思っていたら、目的は絶対に達成できないということを学んだ。

## Q4, 今日の体験を経て、興味関心がわき、もっと調べてみたいことは何ですか？

- ・便利さを減らすことなく、ゴミを減らす取り組みがないか調べてみたいです。また、特にプラスチックごみを多く出すものを知り、意識して行きたいです。
- ・世界の海の汚れ度を調べ、日本の海と比べてみたい。
- ・ゲームの中で、新しい自然に溶け込むペットボトルを作ったけれど、現実ではそれについてどのような取り組みをしているのか知りたいです。
- ・海に限らず、陸や山などの事も考えたいし、世界中の生き物の今の状況や困っている人が世界にどれだけいるかなど、自分が関わってなくても自分のこととして捉え、支援したりしたいです。